

学校点描

コロナウイルス対策とともに、今度は熱中症対策です。暑い中ですが木曜日から定期テストが始まります。

《K中学校》

NO.9 R2. 8. 19

担当：校長

7月23日～26日に開催された地区総体の競技は無事終わりました。残るは8月2日開催の剣道競技だったのですが、地区内に新型コロナウイルスの新規感染者が出たことにより、剣道競技は中止となってしまいました。26日以降も一生懸命に、練習を積んできたI・SさんI・Sさん、T・Yさんの気持ちを考えると、かける言葉も見つかりません。今日は、昼休みに3人を校長室に呼んで『敢闘賞』の賞状を授与しました。「目指す大会はなくなったけれど、努力してきたプロセスは決して無駄ではない」という話を3人は真剣に聞いてくれました。



親と子が一緒にいられる時間

親子が一緒に過ごせる時間は、生涯をとおして約9年間だそうです。気ままに読んでいたある雑誌に書いてありました。驚きですね。保護者にとって、子どもと一緒に過ごせる時間とは、学校以外の時間や睡眠時間、勤務時間を除いた時間で、それを計算すると9年間になるそうなんです。さらに、子どもが小学生、中学生、高校生と成長していくにつれて、ますます一緒に過ごす時間は減っていきます。生涯で親子が一緒に過ごせる9年間のうち、小学校へ上がるまでに35%、小学校を卒業するまでには55%を使ってしまい、高校を卒業したら70%まで使ってしまいうそうです。子どもが社会人となり親元を離れたら、親子で顔を合わせるのは1年のうち数日程度という家庭は普通ですから。

泥棒ですか？

母のツッコミ

ただいまというまでやりなおし

青木 嶺斗(島根県益田市 中学校3年)

「勝ってこい！」初めて言われた父の言葉

涙で帰った その夜に

そっと言われた「おつかれさん」

川村 恵斗(埼玉県さいたま市 中学校3年)

これらは、毎年、文部科学省で募集している『楽しい子育て全国キャンペーン～家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ』の応募作品です。

どの家庭も、毎日毎日一生懸命子育てしているんですね。この三行詩はそんなことを強く感

じさせてくれます。たとえ本当に9年間しか過ごせない親子関係であっても、親にとって譲れないもの、妥協できないものがあり、その中で子どもは成長していくのです。

叱るより 褒めたいんだよ 本当は
のど元までなら 準備万端

早川 学(愛知県江南市 保護者)

夏休みのある日、あるお母さんから手紙をもらいました。前々任校で、不登校になったAくんのお母さんです。学校に行かなくなって、初めてわが子の心の内を知ったとき「どうして今まで気づいてやれなかったのか」と、当時そのお母さんはわたしと面談をする度に悔いていました。手紙には、お盆の実家の墓参りに、学校に行っていないことで祖父母が心配するからとAくんは家で留守番をしていたこと。実家に1泊するため、お母さんは、Aくんの三食分の食事を用意しようとしたんだけど、Aくんから「自分ひとりで大丈夫、用意なんかしなくてもいい」と言われたことなどが書いてありました。

まっすぐばかりじゃない

わたしの言葉を受け止めてくれる 案外…家族は名キャッチャー

大島 彩夏(富山県入善町 中学校1年)

この手紙には続きがあります。お母さんが実家で1泊して戻ってきた日。出迎えたAくんが、こう言ったそうです。

「楽しかった？ ゆっくりできた？ ぼくは、ちょっと寂しかったよ？」 って。

茶の間を見渡すと、自分の分だけでなく、家族全員の洗濯物がきれいに畳んで置かれていたそうです。

笑ったり 泣いたり 怒ったり

あなたと過ごす 毎日は どんな映画よりも名作ね

藤崎 聡子(大分県大分市 保護者)

子どもと過ごす9年間です。笑ったり泣いたり、それでもたった9年間です。

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。

